

NPO法人

第84号

芦安ファンクラブ通信

南アルプス地域の自然を愛するすべての人達に対して、地域の人々との交流を通じた南アルプスの環境保全及び適正利用に関する事業を行い、もって、南アルプス市芦安地域の活性化に寄与する。

～芦安ファンクラブの理念～

特定非営利活動法人芦安ファンクラブ 事務局 南アルプス市芦安芦倉 1578
TEL 090-4135-3193 FAX 055-288-2722 HP <http://ashiyasu.com> メール mail@ashiyasu.com

芦安ファンクラブ研修旅行

～浜石岳・由比・藤枝・宇津ノ谷・丸子宿～

2024.3.2～3

芦安ファンクラブ 花輪 初代

久しぶりの研修旅行。会としては5年ぶり。私個人としては8年ぶり。困ったことに幹事に任命されてしまった。温かな静岡のお山に登り、昼食にほうとうを作り楽しみましょう！2日目は宇津ノ谷峠界隈を散策しましょう！とボンヤリした計画を立てた。新たに心強い幹事がもう1人加勢してくれ、さらに1日目のための歩荷隊まで編成され頼もしい限りで準備万端。

そして当日。天気は上々。浜石岳目指して出発。駐車場までの林道は狭く、すれ違いなど不可能。道幅ギリギリの進行に車内は騒々しい。難所のカーブを通過するたびに歓声と拍手が起こる。予定していた駐車場に着き、これから登るぞ！と意気込んだ矢先、運転手さん「僕はまだ上まで行くのかと思っていました。」の一言。

「いいんですか～？」と黄色い声が飛び交う中、バスは走り出す。そして山頂まで歩いて5分の地点に到着。

運転手さんありがとう！歩荷隊の皆さんごめんなさい。でもおかげで全員『笑顔』で登頂できました。

標高707mの浜石岳からは、東に白銀に輝く富士山、南にはギラギラ眩しい駿河湾、そして北には南アルプス主峰、我らの北岳が凛々しく

見渡すことができる。

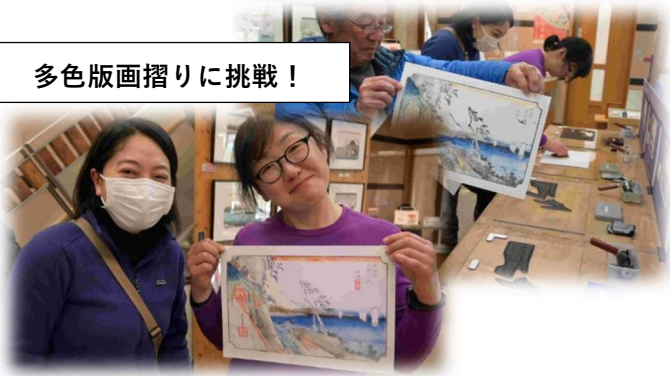
登頂の疲れ(?)もそこそこに、山頂の広場でほうとうの準備を始める。ポカポカ陽気の中でゆっくり、まったりと楽しい時間を過ごした。



浜石岳山頂にて、記念撮影。

1日目の予定はこれで終いなのだが、時間に余裕があったので静岡市東海道広重美術館へ。版画の展示作品に見入ったり、ホールの体験コーナーでは東海道五十三次の作品の中から2点「興津」と「由井」の多色版画摺りを5組に分かれて行い腕前を競ったり。

多色版画摺りに挑戦！



2日目も朝から良い天気。良い天気ではあったが雨天の時のための計画に変えて藤枝まで移動。

東海道五十三次藤枝宿内の大慶寺にある「久遠の松」は比叡山からの修行の帰りに日蓮上人が植えたと伝えられている。天高く見事に伸びた枝ぶりに歴史を感じた。

次に向かったのは藤枝市郷土博物館・文学館。蓮華寺池公園内に設置されているので、家族連れでにぎわっていた。折よく「ごんぎつね」や「てぶくろを買いに」で知られる絵本画家の黒井健さんの特別展を拝観することができた。



宇津ノ谷峠へ向かう古道には、古き良き時代の面影が。

バスは東海道を東へ、道の駅宇津ノ谷峠へ向かう。ここを起点に数々のトレッキングコース、ハイキングコースの案内がある。道の駅から30分ほど歩くと宇津ノ谷峠に着く。名立たる戦国武将たちがその峠を越えたという。武将たちもそこからの富士山を眺めたであろうか。私たちは宇津ノ谷の宿場の方に足を向ける。石畳の趣のある街道だ。戦国時代豊臣秀吉によって拡張整備されたと言われる。そのまま宿場を通り抜けると人気スポットの明治のトンネルに当たる。宇津ノ谷峠にある4つのトンネルの中で最も古いレンガ造りで天井から下がる電燈と相まってレトロな雰囲気を出している。

時間は13時を回りそうだ。お腹が空いてきた。お昼は名物とろろ汁「丁子屋」に席を取っ

である。久しぶりの麦ごはんは舌鼓。ゆっくりと休憩した。

さあこれからはゴールに向かって買い放題払い放題のお土産タイム。甘味処と河岸の市へ寄り、お土産をいっぱい買い込んで一路南アルプスへ。

たった2日しか留守をしていないのに、中部横断自動車道からの景色が妙に懐かしいのはどういう訳だろう？バスを降りた途端、寒風に晒され一気に現実の世界に引き戻され感傷気分は吹き飛んだ。

皆々様お疲れ様でした。

芦安ファンクラブ 鈴木 一江

久しぶり開催の研修旅行。とても楽しく参加させていただきました。

全行程興味深かったのですが、特に面白いな～と思ったのは、2日目お昼に寄った「丁子屋さん」の館内資料館。

地元ボランティアガイドさんが、いらっしやいました。歌川広重「東海道五十三次」のオリジナル版画が展示してあり、当時の旅衣装、鉄砲などは触らせてもらい、解説していただきました。

後日、ボランティアガイドさんについて調べてみると、「駿府ウエイブ」というガイドさんで静岡市内のいろいろなところでガイドを行っているようでした。

丁子屋さんでは、待ち時間に解説をしてもらえるとのこと。粋なサービスだな～。そして、旅の思い出に彩りを添えてくださり、うれしいひとときでした。

幹事さんはじめとする、旅行に関わったたくさんの方々のおかげで、素敵な時間を過ごすことができました。ありがとうございました！



館内資料館。旅衣装。

芦安ファンクラブ 西村 正人

2019年2月 栃木・群馬（竜王峡、大谷観音、足尾銅山など）をめぐる研修旅行以来、翌年からのコロナ自粛期間を経て、5年ぶり久しぶりの研修旅行です。

参加者18名でぴったりのマイクロバスは、中部横断高速をなごやかかつにぎやかに、あっという間に由比に到着し、狭く急斜面の登山道をスイスイと浜石岳山頂直下まで連れて行ってくれました。



登山スタート地点の駐車場から、富士山がくっきりと見えました。

意気込んで登山を開始したが、汗をかく間もなく山頂に到着。早速“ほうとう”の煮込みを開始。

静岡の穏やかな温かい日差しのなか、おいしい“ほうとう”とビールをまったりと堪能しました。



“ほうとう”はほんとうに美味しかった。

その後、由比の広重美術館で版画体験などを楽しみ、宿泊する「駿河健康ランド」に向かいました。

温泉と料理に満足、にぎやかで楽しい宴会は、恒例の万歳で締めくくりとなりました。

翌日は藤枝市で、大慶寺の樹齢760年、日蓮聖人手植えの松として知られる「久遠の松」を見て、蓮花寺池公園の郷土博物館・文学館で「黒井健 絵本原画展」などを鑑賞し、宇都ノ谷峠へ向かいました。

旧東海道の宇津ノ谷集落の坂道を登って、「明治のトンネル」を抜けて「大正のトンネル」から戻るルートを散策、初日の浜石岳登山よりもたくさん歩きました。

「明治のトンネル」の中は時代を感じるムード。



散策で空かしたおなかに、丸子宿の丁字屋で名物の美味しい「とろろ汁」をたらふく入れました。

その後、「駿河の工房 匠宿」と清水の「河岸の市」でお土産を買い、帰路につきました。

浜石岳の素晴らしい景色とともに、東海道の宿場町の歴史遺産を大切に保存しながら、分かり易い形で観光客を楽しませる工夫と努力を感じた研修旅行でした。

幹事の皆様に感謝致します。有り難うございました。



「明治のトンネル」前にて。

芦安ファンクラブ 堀内 訓

ファンクラブの研修旅行に初めて参加しました。前から「とっても楽しいよ。」とは、聞いていたのですが、「百聞は一見にしかず」の言葉通りの楽しさでした。浜石岳の登山はバスの運転手さんが頑張ってくれて、頂上直下まで私たちを運んでくれ、なんと山行時間は5分。頂上では美味しい「おほうとう」を堪能することができました。また、幹事さんの計らいで当初の計画にはなかった見学場所にも連れて行ってもらえました。この2日間でクラブの仲間との絆が強まった気がしました。このパワーで今年も楽しい活動を頑張りましょう

第71回登山教室「栗沢山と北沢峠散策」に参加して 2023.10.14~15

円地 葉子さん（大阪市）

10月14日から15日栗沢山への登山教室に参加させていただきました。サントリー南アルプス天然水のCMを見てから、ずっと登ってみたいと思っていた山です。素晴らしい晴天の中、登ることが出来て、とてもうれしく思っています。大迫力の甲斐駒ヶ岳を見ながらの登山は疲れを少し忘れさせてくれました。大好きな北岳、間ノ岳、仙丈ヶ岳、また遠くには白く雪をかぶった北アルプスの山々が見えました。第58回登山教室で登った早川尾根からアサヨ峰を眺めながら、「あの時は本当にしんどかったな」と思い出したりもしました。



大迫力の甲斐駒ヶ岳を望む。

下山後は、長衛小屋に泊まり、小屋の歴史や芦安の町のことを教えていただきました。今まで参加した登山ツアーでは泊まった小屋のことを聞く機会はなかったので、とても興味深かったです。長衛小屋や芦安を関係者の皆さんがとても大事にされていることが分かり、芦安がうらやましくなりました。



シホさんをはじめ長衛小屋のスタッフの皆さん、お世話になりありがとうございました。岩間ガイドさん、青柳さん、高橋さん、またどこかでご一緒できたらいいですね。来年も楽しい登山教室の企画を楽しみにしています。



栗沢山山頂にて。

各山小屋の管理人さんより

北岳山荘

芦安ファンクラブ 長田佳久・吉澤斉大

令和4年度は改修工事でテント泊しか利用が出来なかった北岳山荘でしたが、改修工事も終わり令和5年度は宿泊も再開をしました。



テント場から、北岳を望む。

歩き入山をして北岳山荘が見えたときに“あれ？”と思いました。

例年に比べて小屋周辺の雪の量が少なかったのです。例年だと除雪作業に多くの時間を費やしますが、令和5年度はその手間が減ったので順調に小屋開け作業を進める事ができました。

北岳山荘の小屋開けは、やる事が多く力仕事もあるのでなかなか大変なのです。それに加え、紫外線の強さ、気温の低さ、空気の薄さなど厳しい環境の中での作業となります。



リニューアルを終えた北岳山荘。

小屋開け作業をしながら、ときおり予約者数を見ていると繁忙期は平日も満員で忙しくなりそうな雰囲気だと思いました。

予約システムを導入する以前は、利用者は7月中旬から8月中旬までに集中し、1枚の布団に2名ないし3名で案内する事が多く、しっかりと休む事も出来ない環境でした。完全予約制になり数年、山小屋として適正な環境を提供す



ライチョウさん、こんにちは！

る事ができるようになってきたなと改めて実感しました。

受け入れ人数も制限している為、食事以前よりも手間をかけ、疲れている体にも受け入れやすいメニュー開発をしてきました。夕食時のメインはご飯がすすむものだったせいか、ご飯のおかわりが多く驚きつつも、しっかりと食べてくれることがとても嬉しかったです。

北岳山荘は通常の小屋業務に加えて、周辺の貴重な動植物の保護に関わる事業など担う事が多く、様々な面で北岳の重要な場所だと考えております。

厳しい環境、複雑な設備、不安定な気象状況により予定通りに実施できない物資輸送など、自然を相手にした不確定な事が多く、普通に運営する事自体が難しい場所と感じます。

令和6年度の運営は、様々なトラブルに直面をしても柔軟に対応し、山の安心と安全を利用者に確実に届けられるよう、また担っている業務をひとつひとつ丁寧に対応をしていながら“確実な運営”をしていきたいと思ひます。



白根御池小屋

芦安ファンクラブ 吉澤齊大

「すみませ〜ん、ジュースを下さい!」、
「ランチのカレーってまだ食べられますか?」、
「コーヒーを2杯下さい!」



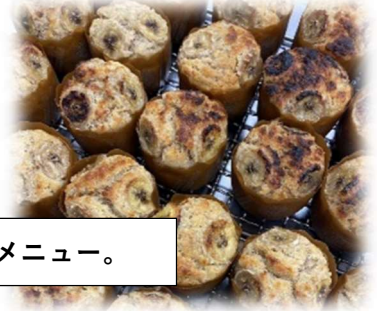
受付対応を忙しくするなか、受付から外側に向いている小窓からも利用者がひっきりなしにやってくる。令和5年度の山小屋は忙しかった、という表現よりも山に登山者が帰ってきたという表現のほうが正しいのかもしれない。コロナ禍では登山者の数は減り、振り返ってみると、ここ数年はひっそりとした運営だった気がします。



令和5年度の白根御池小屋は、“山小屋だから”ではなく “山小屋なのに” をテーマに小屋のサービスを展開してきました。

利用者が食事をしっかりと摂り、ゆっくりと寝て翌日の登山に備えられるサービスを提供する事が山小屋の本来の責務と考えています。

その考えの上に“おもてなし”の要素を付け加えてきました。夕食には山梨県産の富士桜ポークを使い、ランチのカレーには芦安産ターメリックを使い、カフェメニューでは南アルプス市産のスモモ、桃、葡萄などを使ってきました。食べ終わった後に“ご馳走様でした”よりも“美味しかった”って言うていただけた事が多かったので好評だったと思います。



大好評のカフェメニュー。

食材の手配からヘリの荷上げまで、本当に多くの方のおかげで山小屋に貴重な食材が届きます。この場を借りてお礼を申し上げます。

また夕食後の談話室では清水会長による“山小屋100年”という南アルプスの山と小屋の歴史を語るトークショーも開催され、利用者からも大変好評でした。参加した従業員も勉強になる事ばかりで貴重な体験をさせていただきました。

色々な事に挑戦をした令和5年度でしたが、令和6年度は歴史や文化の伝承についてフォーカスをしていきます。

利用者も従業員もなかなか知る事ができない知識を学べる場所として、もちろん令和5年度同様に喜んでもらえる運営をしていきたいと思っています。



長衛小屋

芦安ファンクラブ 千葉茂樹

一昨年より引き続き責任者をつとめさせていただき、千葉です。今年度もよろしくお願いいたします。

台風 19 号の爪痕が癒えぬうちコロナ禍に見舞われた 2020 年に副責任者の業務を拝命してから早 4 年、芦安ファンクラブの皆様をはじめ多くの方々に支えられながら、色々とハマをやらかしつつも何とか小屋を運営してこられました。改めて、感謝申し上げます。

2024 年度は、北岳山荘、白根御池小屋で副責任者をつとめてきた馬野との、大人の色香と落ち着きに溢れるアラフィフ管理体制となります。小屋の売りとなるかどうかはわかりませんが。

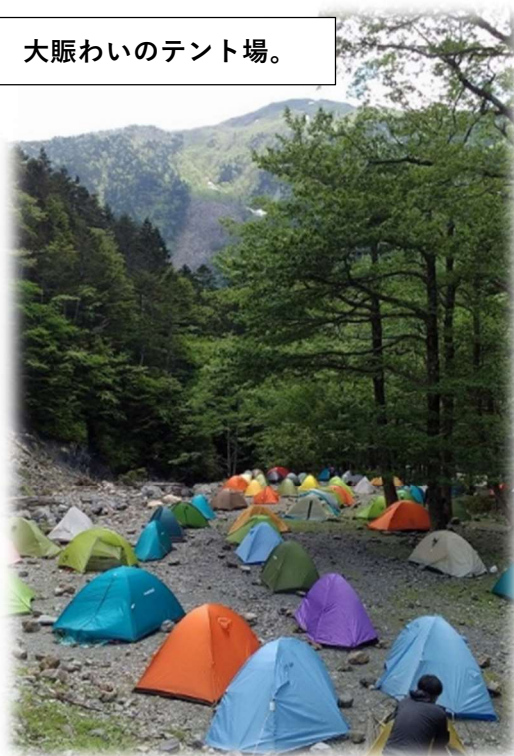
お寒い冗談はさておき、本年度より 5 年間の指定管理期間が始まります。これまでの反省を活かしながら、現状に甘んずることなく改善を重ね、登山者が快適に登山できるようサポートしていきたいと考えています。そして、今シーズンの目標としては、“小屋の利用者全員の帰宅”を掲げておきたいと思います。Alive only での。今シーズンだけの目標ではないですね。

山小屋勤務を始めて約四半世紀。山を取り巻く環境も段々と変わってきていると感じています。人手不足は麓の山小屋では常態化しつつあり、天候不順や異常気象は、もはやデフォルトです。そんな中でも、これまでの経験を踏まえてブリコラージュ的に現場をやりくりしていこうと思います。そして、会員の皆様のお力添えが必要になるときが必ず来ますので、その時は何卒よろしくお願いいたします。

雪の中でお正月も営業。



大賑わいのテント場。





2024年 登山教室のご案内

南アルプスは、ユネスコエコパークの認定を受け、
豊かな自然環境を未来に引き継ぐモデル地域として様々な
活動を展開しています。



回数	集合場所	目的地 / コース説明	登山口	難易度	申込期限
日数	開催日/集合時間/参加費		宿泊場所	特殊な装備 ガイド	
第72回	芦安ファンクラブ事務所	新緑の栗沢山へ（6名まで）	北沢峠	初級者向き	6月7日 （金）
2日間 コース	6月15日(土)16日(日) 集合:午前5時45分 30,000円	しばらくぶりの初夏の栗沢山登山と竹澤長衛 さんと長衛小屋の歴史についての座学を楽し みましょう。	長衛小屋	- 担当 望月	
第73回	芦安ファンクラブ事務所	キタダケソウ観察会	広河原	中級者向き	6月21日 （金）
3日間 コース	6月29日(土) 30日(日)7月1日(月) 集合:午前8時45分 48,000円	ここにしか咲かない花、満開のキタダケソウ を見に行きませんか？今年度もゆったり3日間 コースで無理なくキタダケソウを目指しま す。	白根御池小屋 北岳山荘	アイゼン （8本爪以上） 担当 望月	
第74回	芦安ファンクラブ事務所	北岳の広大なお花畑めぐりへ	広河原	中級者向き	7月19日 （金）
3日間 コース	7月27日(土) 28日(日)29日(月) 集合:午前8時45分 48,000円	百花繚乱の北岳のお花畑と稜線の美しい朝日 を見に行きませんか？1泊目は白根御池小屋、 2泊目は北岳山荘に宿泊するゆったりコースで す。	白根御池小屋 北岳山荘	- 担当 望月	
第75回	芦安ファンクラブ事務所	夏休み特別企画 親子で歩く早川尾根(3組限定)	広河原	中級者向き	7月23日 （火）
3日間 コース	8月7日(水) 8日(木)9日(金) 集合:午前7時45分 親子:2人一組75,000円	広河原から北沢峠まで、早川尾根を歩き360℃ パノラマの世界を見に来ませんか？※荷物を 背負って6時間程度の登山をした経験のある高 校3年生までを対象とします。	早川尾根小屋 長衛小屋	- 担当 岩間・本堂	
第76回	芦安ファンクラブ事務所	語り部と歩く北岳	広河原	初級者向き	8月13日 （火）
2日間 コース	8月21日(水)22日(木) 集合:午前8時45分 28,000円	白根御池小屋に宿泊し、北岳の歴史を学びな がら歩きます。雪溪からバットレスの雄姿も 見学します。	白根御池小屋	軽アイゼン 担当 西村・堀内	
第77回	芦安ファンクラブ事務所	秋の栗沢山&アサヨ峰（6名まで）	北沢峠	初級者向き	9月20日 （金）
2日間 コース	9月28日(土)29日(日) 集合:午前5時45分 30,000円	栗沢山、アサヨ峰の山頂から甲斐駒ヶ岳や仙 丈ヶ岳の美しい紅葉を眺め、秋の高山を満喫 しましょう。	長衛小屋	- 担当 富山	
第78回	芦安ファンクラブ事務所	長衛小屋語り部ツアー（6名まで）	北沢峠	初級者向き	9月27日 （金）
3日間 コース	10月7日(月) 8日(火)9日(水) 集合:午前8時45分 35,000円	1日目は北沢峠の紅葉を楽しみながら長衛小 屋の歴史に触れ、2日目は両俣小屋を目指して 治山林道を歩きます。芦安の秘境への旅。	長衛小屋 両俣小屋	- 担当 岩間	

■募集人員はコースによって変動します。最低催行人数3名

■参加経費は、当日受付でお支払いください。参加費には宿泊費・2日目(3日目)屋食代、保険料、乗合バス代金、登山後の温泉入浴料、ガイド料金諸経費を含んでいます。申込後に実施要綱をお送りします。

■初日の屋食は、各自でご用意ください

■申し込み・問い合わせ先

◆NPO法人芦安ファンクラブ事務局 〒400-0241 山梨県南アルプス市芦安芦倉1578番地

◆Tel 090(4135)3193 ◆Fax 055(288)2722

◆http://ashiyasu.com/ ◆メール mail@ashiyasu.com

■申込方法 所定の申込用紙にご記入の上、FAX又はメールでお申込ください。

※トラブル回避のため電話での申込は受け付けません。※

主催 NPO法人芦安ファンクラブ 後援 南アルプスガイドクラブ

※申し込みは各人ごとをお願いします。※希望するコースに○をつけてください

第72回	2日コース	6月15日(土)16日(日)	新緑の栗沢山へ (6名まで)
第73回	3日コース	6月29日(土)30日(日)7月1日(月)	キタダケソウ観察会
第74回	3日コース	7月27日(土)28日(日)29日(月)	北岳の広大なお花畑めぐりへ
第76回	2日コース	8月21日(水)22日(木)	語り部と歩く北岳
第77回	2日コース	9月28日(土)29日(日)	秋の栗沢山 & アサヨ峰 (6名まで)
第78回	3日コース	10月7日(月)8日(火)9日(水)	長衛小屋語り部ツアー (6名まで)

備考 友人同士等、親子、グループで参加の方は、他に申込みをされた方のお名前をここへ記入してください

御同行者名 [] 計 名

ふりがな		生年月日	昭和・平成 令和	年 月 日
氏名				
住所	〒 -	年齢 性別	(年齢 歳) 男 . 女	

電話番号 FAX番号	自宅	【FAX】	
	携帯		
	緊急連絡先	【連絡者氏名】	【緊急連絡先の電話番号】 自宅/携帯

メール アドレス	パソコン	
	携帯	

体力度	(自己判定にて○をしてください) 弱い やや弱い 普通 やや強い 強い
-----	-------------------------------------

健康状態	
------	--

山行履歴	◆登山歴 年
	◆昨年から1年前後の主な山行をご記入ください。(例) 赤岳山頂まで 令和4年8月

その他	◆芦安温泉施設での前泊を希望しますか? ※○をし、参加する開催回を記入してください
	(希望する【第 回】・希望しない)
	※その他質問等ありましたら記入してください

【注】申込みに際して、次の事項を遵守してください。

1. ガイドの指示や注意事項を守ってください。2. 安全のため、コースの変更など予定を変更することがあります。
3. 健康管理は、自ら責任を持ち、体調を整えて参加してください。

第75回	3日コース	8月7日(水)8日(木)9日(金)	夏休み企画・親子で歩く早川尾根(3組限定)		
ふりがな			生年月日	昭和・平成 令和	年 月 日
保護者 氏名				年齢 性別	(年齢 歳) 男 ・ 女
ふりがな			生年月日	昭和・平成 令和	年 月 日
お子様 氏名				年齢 性別	(年齢 歳) 男 ・ 女
住所	〒 -				
電話番号 FAX番号	自宅	【FAX】			
	携帯				
	緊急連絡先	【連絡者氏名】	【緊急連絡先の電話番号】 自宅/携帯		
メール アドレス	パソコン				
	携帯				
体力度	(自己判定にて○をしてください) 弱い やや弱い 普通 やや強い 強い				
健康状態					
親子の 山行履歴	◆登山歴 年				
	◆昨年から1年前後の主な山行をご記入ください。(例) 赤岳山頂まで 令和4年8月				
その他	◆芦安温泉施設での前泊を希望しますか? ※○をし、参加する開催回を記入してください				
	(希望する【第 回】・ 希望しない)				
	※その他不安なこと、質問等ありましたら記入してください				
【注】申込みに際して、次の事項を遵守してください。					
1. ガイドの指示や注意事項を守ってください。2. 安全のため、コースの変更など予定を変更することがあります。					
3. 健康管理は、自ら責任を持ち、体調を整えて参加してください。					